



スクールリポート

▶ 学校教育課
☎23-3679

学校生活の
一コマを
紹介



「春の遠足」

縦割り班で育てる思いやりの心

大草小学校



●ビーチフラッグスをする児童ら



●大草海岸で集合写真

大草小学校では、全校児童85名で縦割り班活動を行っています。1年生から6年生が6つの班に分かれ、縦割り班掃除、運動会での縦割り班対抗種目、一人一鉢の栽培活動を縦割り班で世話するなどさまざまな活動を行っています。

4月27日(金)に行われた春の遠足では、オリエンテーリングをしながら校区を巡り、各チェックポイントでゲームやクイズを行いました。ゴールの大草海岸では、ふるさとのきれいな砂浜を守っていくため、縦割り班に分かれて海岸に打ち上げられたペットボトルなど、砂浜のごみを拾い集めました。昼食後は、砂浜でビーチフラッグスなどのゲームを楽しみ、大草海岸の自然に感謝しつつ遠足を終えました。春の遠足を縦割り班で行うことで、入学してきた1年生15名の仲間入りを歓迎し、仲間意識を育てることもできました。

今後も縦割り班での活動を通して、上級生のリーダー性を伸ばすとともに、思いやりの心を育て、より良い学校生活が送れるようにしていこうと思います。



「あかはに探検隊」

「あかばね」の良さを見つけに

赤羽根小学校

毎年5年生は、3月になると大忙しです。なぜなら、次年度の4月に行う「あかはに探検隊」※の計画を自分たちで立てるからです。全校を6班のなかよし班(縦割り班)に分け、①互いのよさを認め合い、協力することの大切さに気付く②校区の自然や産業、昔の良さを伝える建物を見学し、ふるさと「あかばね」の良さ気付くという狙いの元、活動します。子どもたちは、意見を出し合い、見学場所や歩行ルート、クイズ、遊び方などを考えます。職員は、子どもたちが考えた場所(厳王寺・給食センター・消防赤羽根分署・一色神社)や歩行ルートを実際確認し、あいさつとお願いに行きます。チェックポイントでは、PTA役員さんがクイズを出題します。「校歌に出てくる『くろがねの岩』の上に立っている像の名前は？」など、地域の特徴を生かしたクイズもあります。

「あかはに探検隊」当日は、PTA役員さんと希望する保護者が、子どもたちの見守り役として参加してくれています。子どもの主体的な活動を地域の方々と保護者が支える赤羽根小学校の一大イベントです。

※ 赤羽根地区に古来から産出する「赤いねば土(粘土)」のことを、「あかはに」と呼んでいた。赤羽根の名前の由来にもなっており、探検隊の名前とした。



●見学場所を考える児童ら



●子どもたちが考えたルートをチェックする先生